

湘北短期大学

評価短期大学の概要

設置者 学校法人 ソニー学園
理事長 米澤 健一郎
学 長 山田 敏之
A L O 大竹 英雄
開設年月日 昭和 49 年 4 月 1 日
所在地 神奈川県厚木市温水 428

設置学科および入学定員

学科	専攻	入学定員
生活プロデュース		135
保育		100
情報メディア		130
総合ビジネス		135
	合 計	500

専攻科および入学定員

専攻	入学定員
住居	35
	合 計 35

機関別評価結果

1. 機関別評価結果

湘北短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成 18 年 3 月 23 日付で適格と認める。

2. 機関別評価結果の事由

学校法人ソニー学園は、昭和 39 年にソニー株式会社の寄付により創設され、翌昭和 40 年 4 月、ソニー厚木工場（現厚木テクノロジーセンター）の若年女子社員に優れた高校教育を提供する目的で、ソニー厚木学園高等学校を開校した。昭和 49 年に設立された当該短期大学は、当初 2 学科体制であったが、漸次学科数・定員を拡大し、現在は情報メディア学科、総合ビジネス学科、生活プロデュース学科、保育学科の 4 学科及び 1 専攻科を擁する神奈川県下最大規模の総合短期大学となっている。

当該短期大学は、創設者である井深大氏の建学の精神に基づき、育成すべき「社会に役立つ人材」の要件として、「確かな基礎学力に支えられた高い専門性」、「自主的に問題を発見し解決する能力」、「責任ある社会人としての教養・資質」の 3 つを掲げ、これらのすべてを包含する「全人的教育」を全学の教育目標としている。

平成 17 年 1 月 20 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

創立者、井深大氏の教育理念が建学の理念とされており、明確に示されている。また、教育目標も確立している。

設置されている 4 学科の教育課程は、免許・資格に必要な科目を設定しており、多くの資格取得が可能となっている。平成 7 年度からは全学的に授業評価が行われている。また、教員の独創性を重んじた学長表彰制度がある。授業の単位認定は適切に行われており、資格取得に関しては各学科で積極的な取り組みがなされ、実績をあげている。専門分野への就職は全般的に良好であり、企業アンケートを実施する等、就職先から卒業生についての意見の聴取も行っている。

カレッジライフ部が中心となり、学生生活の支援体制が整えられている。クラブ活動、

学生誕生会、イングリッシュラウンジ等学生生活の満足度をあげる工夫がなされている。就職率は非常に高く、就職支援組織としてはキャリアサポート課（CS 課）があり、掲示と共にホームページ等複数の媒体を通して行われている。また、進学・留学相談室が設置され、情報提供から相談までの体制が整っている。

研究活動については、3年間科学研究費補助金が採択されている。また、教員の研究にかかる経費（研究費、備品、図書、研究室等）は適切であり、問題はない。

社会的活動として、「社会人への教育と地域に根ざした教育」を目的に、公開講座、正規事業の開放、パソコン特別講座等、数多くの取り組みがなされている。地域活動でも厚木市主催のキャンペーンやバザー等、全学挙げての積極的な活動が見られる。

管理運営体制に関しては、理事会、理事長、学長との連携ができており、理事長のリーダーシップが短期大学運営全般に及んでいることが確認された。また、学校法人の業務監査、財務監査及び監査報告書の作成も適切である。学長はリーダーシップを発揮し、教授会、委員会も円滑に運営されている。組織体制は、特徴ある部、センターを設け、よく整備されている。

財務について、毎年度の事業計画及び予算は、教授会との連携の下に的確に処理されており、体制は安定している。

自己点検・評価の実施体制については、平成6年度から積極的に取り組んでおり、点検・評価の結果として、今後解決されるべき問題や課題も明記されている。

3. 優れている点及び向上・充実のための課題

(1) 優れていると判断される事項

評価領域 教育の内容

- ・ ネイティブ教員が常駐するイングリッシュラウンジを設置し、学生がいつでも訪ねられるようになっており、語学能力の向上を目指している。
- ・ 他学科の科目履修や、首都圏西部大学単位互換協会加盟等優れた試みがなされている。

評価領域 教育の実施体制

- ・ 各種センター及びマルチメディア室等の学習環境が整備され、学生の利用状況は良好である。

評価領域 学生支援

- ・ 入学前に学習支援用の CD-ROM が配布され、また、オリエンテーションは、新入生と教員だけでなく新2年生も加わって実施されている。
- ・ 国際交流体験や SHOHO(学内インターンシップ)のユニークな活動を充実させ、「短期大

学における社会体験教育の多面的展開、「国際交流体験の多面的展開」のテーマで特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)を獲得した。

- ・ 訪問調査で学生全般から受けた印象は、あいさつがよく浸透し、明るい好ましいものであった。これは教職員が日常の中で人格形成の指導にあたっている結果と考えられる。

評価領域 研究

- ・ 短期大学としては、科学研究費補助金等外部研究費の採択実績が高い。また若手教員を対象とした「湘北短期大学研究補助金制度」は、研究活動支援として優れた試みといえる。

評価領域 社会的活動

- ・ 高大連携をはじめ、湘北エクステンションセンターを設立し、産学協同研究、教材開発、教育研修を展開している。

評価領域 財務

- ・ 財務状況については学校法人及び短期大学ともに良好に推移している。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域 教育の内容

- ・ 授業回数の確保に努力されたい。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

- ・ 情報メディア学科において退学者または休学者が他学科と比べて高いという状況は改善が求められ、また、学力不足の学生に対する組織的なサポートも必要であろう。

評価領域 財務

- ・ 情報メディア学科及び保育学科における定員超過を是正されたい。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし